

目次

年頭挨拶	1 頁～ 4 頁
平成25年度第2回臨時評議員会	5 頁
地域別幹事・DM会議	6 頁

ご存知ですか?	7 頁
「一灯」 デンタルミーティングのお知らせ	8 頁



謹 賀 新 年

神奈川県歯科医師連盟会長
富田 篤

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。一昨年安倍政権誕生、アベノミクスの波に乗り、昨年の7月参議院選におきましては、神奈川県選挙区で島村大先生が113万票以上、全国最多得票で当選され、また職域代表比例代表候補石井みどり先生も4位で見事当選されました。我々会員も頑張りましたが、島村先生は自民党県連会長の菅義偉官房長官そして県連所属議員の絶大な応援を得て当選できたものと思います。

12月6日、日比谷公会堂で「国民の歯科医療を守るために総決起大会」が開催されました。医療にかかわる全国の代表者2000人が集結。大久保会長のご挨拶はすば抜けて素晴らしいものでありました。しかしこの会合について一般国民には伝わっておりません。国会混乱する中、一部の国会議員が出席されておりました。

さて、歯科界であります。本年の診療報酬改定に向けて、適正な評価を求めています。

大変厳しい状況にあります。健康寿命延伸、そして歯科口腔衛生機能管理することにより、入院日数15～20%削減するというエビデンスも厚生労働省から、中医協に示しています。しかし保険者側は赤字を理由にアップ改定は反対、政府首脳も首を縦には振ってられません。

島村先生にもお手伝いいただき、日歯大久保会長、日歯連盟高木会長もエビデンスを携え、全力でロビー活動をされておられます。何としても行政の理解、政治家にもお手伝いをいただかねばなりません。今後、歯科医師である有能な行政マン、政治家が排出され、活躍してくれることを望みます。

加えて、国民が歯科医療、歯科医師を評価してくれる努力が必要であり、世論が最も強力な政治力であろうと考えております。

いずれにしましても歯科医師の保健衛生・指導、治療が、健康で長生きし、会話を楽しみ、おいしくものを食べられるという人間の幸せ、加えて医療費の削減のためにも歯科が貢献しているという自信、誇りをもって日々の診療に精を出しましょう。

連盟へのさらなるご協力をお願いいたし、新年のご挨拶といたします。





2014年 新年所感

参議院議員

石井 みどり

新年明けましておめでとうございます。本年も先生方にとりましてよき年となりますよう、お祈り申し上げます。また、平素より格別のご指導、ご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

◆ 2期目の当選を果たす！

昨年は私にとりまして大きな節目の年となり、日歯連盟の職域代表候補者として2月1日からの半年にわたり、全国を2巡致しました。この間、本当に多くの全国の先生方にお会いし、7月21日、第23回参議院議員通常選挙において294,079.739票（自民党内第4位）を獲得し、2期目の当選を果たすことができました。公職選挙法の規定により、当選御礼を申し上げることができず、誠に申し訳ありません。歯科医療の未来を拓くために、今後とも全身全霊を賭して頑張っまいります。

◆ 公約実現に向けて

今回参院選では公約「未来を拓く！ 歯科医療のダイバーシティを創る」を掲げましたが、公約実現に向けて一步を踏み出しております。

安倍内閣は、「日本再興戦略」、「健康・医療戦略」の中で、「データヘルス計画」（※健康保険組合のレセプト等のデータに基づく健康保持増進のための事業計画）の推進を発表しました。

本計画に関係し、私の掲げる「歯科口腔保健法の制定を受けた生涯を通じた切れ目のない歯科健診システムの確立」（特定健診・労働者一般健診への歯科健診導入、産業歯科医 法的身分の明確化）を目指し、現在エビデンス集積に向け活動を開始しております。

◆ 参議院厚生労働委員長に就任！

8月2日、第184回臨時国会が開会されました。

参院選により、参議院においても自公が安定多数を確保し、衆参のねじれが6年ぶりに解消され、自民党・山崎正昭参議院議員が議長に選出されました。

同時に、山崎議長のご指名により、厚生労働委員長に選任されました！

また、12月6日現在、以下の内容が議論されています。

H26診療報酬改定、H26税制改正、H26歯科関連予算、H26歯科保健関係予算概算要求 新規事業、国民歯科問題議員連盟を再開！（※）

そして、いよいよ2期目を迎えることができ、私に再度6年という仕事を行う時間を与えていただきました。任期を終えたときには「燃え尽きて何も残っていない」というほどの仕事をしたい、たとえ任期中に果たせなくとも、わが国・歯科界の未来のため道筋をつけていきたいと決意しております。

1期6年間、温かいご支援を賜った神奈川県歯科医師会の先生方に、引き続きのご指導を賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

▶（※）紙面の関係で、詳細はホームページを参照してください。



新たな年の始まりに 寄せて

参議院議員

西村 まさみ

新年あけましておめでとうございます。神奈川県歯科医師連盟の先生方にはご家族お揃いでお健やかに新たな年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また平素より賜っております格段のご指導ご鞭撻に心より御礼申し上げます。

先生方のお力で参議院に送り出していただいたより3年、任期6年の折り返し点を過ぎました。この3年は民主党政権と重なり、報酬改定や法成立をはじめとした歯科医療・口腔保健施策の前進に、社会保障制度改革に東日本大震災復興にと、まさに無我夢中の3年間でした。後半の3年間は野党の立場となりそうですが、引きつづき諸課題の解決に向け全力を尽くす決意しております。

さて私たちが迎えた2014年は、私たちにとってどのような年となるのでしょうか。4月の診療報酬改定と消費税3%増税、強行された社会保障制度改革プログラム法に沿い医療介護関係等の法改正や制度改正も次々と議論のテーブルに乗せられることとなります。また医療介護分野の営利市場化を狙う動きやTPP交渉なども

含め引きつづき重大な局面が続きます。私は国民生活の安心・安定に欠かせない社会保障制度をすべての国民が等しく負担することで支え合って行こうという国民理解と納得をさらに進めるための発信を続けたいと思っています。そして超高齢社会で国民の生涯を通じた健康と「食」を支え健康寿命を延伸するための、地域かかりつけ歯科医による検診の制度化や在宅歯科医療・医療と介護の機能連携の推進とこれらを支えるチーム医療の充実化、メタルフリー化など歯科保険医療の質の向上で国民ニーズと経営安定の両立を進める取り組みに全力を挙げる決意しております。

今年の10月10日はかつての東京オリンピック開会式の五十周年記念日です。昨年9月、半世紀を経て2020年オリンピック開催が決定し国内は沸きましたが、半世紀前の東京オリンピックは、すべての国民にとって明日を信じ今日をがんばるための夢の大会でした。来る大会が同様に夢の大会となれるよう、すべての国民の将来不安を取り除き生活の安定を図ること、特にすべての子どもたちの育ちを確かなものにするこそこそが政治の責任であると、私はいま強く胸に刻んでいます。

神奈川県歯科医師連盟のますますのご発展と先生方のご健勝を心より祈念申し上げますとともに、変わらぬご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。



新年あけまして おめでとうございます

参議院議員

島村 大

昨年の参議院選挙におきましては、皆様方の多大なご支援により、1,130,652票という高得票にて全国トップ当選を果たすことができました。あらためて深く御礼申し上げます。

昨秋の臨時国会は、参議院厚生労働委員会、決算委員会、ODA（政府開発援助等）特別委員会への所属も決まり、私にとって初の本格的な国会となりました。11月5日には厚生労働委員会で初質問に立たせて頂き、主には東日本大震災避難者の心と身体のケアへの対応、今後の社会保障制度の考え方と方向性、持続可能な国民皆保険について、田村厚生労働大臣に伺いました。重要法案が山積する中、皆様とのお約束を果たすべく使命感と、与党議員としての重責を感じながら、国政への一歩を踏み出したところです。

さて、私の国政での大きなテーマのひとつは、健康寿命の延伸です。委員会質問でも、とりわけ検診や病気にならない予防、そして重症化予

防の重要性について訴えました。平成22年の統計によれば、女性の平均寿命86歳に対し健康寿命は12年短く、男性は平均寿命80歳に対し約9年短いということです。平均寿命＝健康寿命とするのが私の最終的な目標ですが、その差をいかにして縮めるか。また、県選出の議員として、「健康寿命日本一の神奈川」を目指しています。県民の皆様が、生涯ずっと健康で、幸せに過ごされますよう尽力して参る所存です。

我々歯科医師の立場においても、口腔と全身の健康は密接に関連しており、糖尿病の重症化を防ぐ歯周病の治療や予防、高齢者等による誤嚥性肺炎を防ぐ口腔ケアなど、今後ますます国民の健康への重要な役割を担っていくこととなります。そして、歯科界の諸問題も私にとって大切な政策課題です。特に高点個別指導の問題、診療報酬の納得できる点数改善、医科歯科格差の是正等々。一番の願いは、若い歯科医師やこれから歯科大学を目指す若者たちが希望に満ち、夢を語れる歯科界となることです。ぜひ皆様のお声を聞かせて頂きながら、諸先生方と共に歯科界の発展に寄与して参りたいと存じますので、引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、神奈川県歯科医師連盟の皆様にとって、本年が良き年となりますよう心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



平成25年度 第2回 臨時評議員会 花村議長・川田副議長 再選

平成25年10月3日(木)午後6時より、神奈川県歯科医師連盟平成25年度第2回臨時評議員会が歯科医師会館地階「大会議室」にて行われた。

鶴岡裕亮理事長が司会進行し、点呼にて定数76名のところ出席者71名で本会議が成立することが確認された。開会を高橋宏嘉副会長が行い、仮議長に関英夫評議員(相模原市)が選出され進行された。議事録署名人には佐氏又英君(青葉区)と北村信行君(茅ヶ崎)が選定された。第1号議案として評議員会議長および副議長の選出が行われた。多数の評議員が花村欣也評議員(厚木)を議長に推薦し、花村君が新議長に決定された。副議長には川田俊一評議員(磯子)が選ばれた。



川田副議長

花村議長

会長挨拶において富田会長は、まず先日逝去された平嶺勝嗣評議員(横須賀市)への追悼の言葉を伝え、続いて、本会議に出席いただいている石井みどり参議院議員が参議院厚生労働委員長に就任したこと、そして、島村大参議院議員については「歯科関係者だけのために当選したのではなく、県民の後押しがあつて当選したので歯科のためだけに働くことはできないが、どうやったら歯科がよくなる方向につながれるか、人脈作りから力を入れている」と島村先生の話を紹介した。また、「政治家に働きかけることのできる政治力を期待し、地域の会合に国会議員等と呼んで話を聞いてもらっている。そして、世論を味方につけるとというのが我々の

力につながる」と話した。続いて県歯高橋会長は、消費税8%への対応について初再診に付加する方向で検討していると述べた。

石井みどり参議院議員のご挨拶では、当選のお礼の言葉と参議院厚生労働委員長を拝命したとのご報告があつた。「自民党内の国民歯科医療問題議員連盟で次期診療報酬獲得に向けて議論している」「選挙公約への課題は高いが困難であっても不可能だとは思っていない。閉塞感漂う歯科界に風穴を開けたい、達成できなくても道筋だけでもつけていきたい」と話した。

続いて、鶴岡理事長より今期からの新役員紹介があり、退任役員へ感謝状の贈呈がされた。前神奈川県歯科医師連盟副会長の杉山紀子君、同村岡宜明君の名前が紹介された。

次に、高橋宏嘉副会長より日歯連盟評議員会報告があつた。歯科衛生士の医師による直接雇用の問題、高点個別指導について、参院選についての報告があり、檀上修常務理事からは組織対策委員会報告が行われ、「選挙も終わり組織強化のため未入会対策などに注力していかなければいけない。また、県下33支部を3ブロックに分けて行う幹事DM会議を開催するので参加いただきたいと伝えた。

協議に入り、鶴岡理事長が第23回参議院通常選挙の総括について報告を行い、北野道廣副理



事長が自民党歯科医師支部党員について説明を行った。そのあと質疑応答がおこなわれ、原秀一評議員(横須賀市)より、亡くなった平嶺勝嗣評議員についての報告とお礼を述べた。

島村大参議院議員の挨拶として、日本でトップの票をいただいたお礼と、選挙活動の苦労話などの話があり、そして、「神奈川県歯科医師連盟の会員が街頭活動や決起大会に参加していただいたことが自民党内部で力のある団体だと認められることにつながった」と話した。最後に森洋行副会長が閉会の辞を述べ閉会した。

各地域との連携を強化

～組織対策委員会委員を交えて会談～

地域別幹事・DM会議

平成25年度の事業として、2年ぶりに行うこととなった幹事・DM会議を、地域別に3回に分けて行った。

第1回目は大和、小田原、厚木、海老名、相模原、座間、秦野伊勢原、足柄の8地区、第2回目は川崎、横須賀、逗葉、鎌倉、藤沢、茅ヶ崎、平塚の7地区、第3回目は横浜市内18地区と横浜市歯科医師連盟が出席し、1時間半程の時間ではあったが、地域からの声をお聞きして連盟の組織力の強化を図るために行われた。役員から未入会対策などについて説明をした後、各地域の担当者から現在の対応や本会に対して

の要望など幾多の意見が出され、活発に意見交換が行われた。また、この3回の会合には本年度から任に就いている組織対策委員も出席し、地域の事情を熱心に聞いていたので、今後の組織力強化に役立つものと期待する。



平成25・26年度 組織対策委員会

役職名	氏 名 (地区名)	役職名	氏 名 (地区名)
委員長	宮坂 宗行 (茅ヶ崎)	同	今宮 圭太 (大和)
委員	檀上 修 (鎌倉市)	同	山田 剛久 (茅ヶ崎)
同	難波 隆夫 (小田原)	同	勝俣 浩一 (小田原)
同	五十嵐史征 (鎌倉市)	同	山畑 智也 (相模原市)
同	西山 潔 (神奈川区)	【担当役員】	
同	石田 千洋 (戸塚)	副会長	高橋 宏嘉
同	小野清一郎 (泉)	同	徳永 寛司
同	山崎 智人 (青葉区)	理事長	鶴岡 裕亮
同	宇佐美貴弘 (鶴見)	副理事長	北野 道廣
同	西崎 靖仁 (横須賀市)		

平成25・26年度 情報調査委員会

役職名	氏 名 (地区名)
委員長	宮坂 宗行 (茅ヶ崎)
委員	増井 峰夫 (平塚)
同	坂下 友也 (青葉区)
同	今宮 圭太 (大和)
特別委員	村岡 宜明 (茅ヶ崎)
【担当役員】	
副会長	加藤木 健
理事長	鶴岡 裕亮

ご存知 ですか その1

消費税問題解消が特別措置法を廃絶させるかも

医療を課税制度にして消費税問題解消を図ると、特別措置法存続が危うくなることを、ご存知ですか。

医療の消費税損税で、財務省は毎年なんと2千4百億円以上も得しています。

医科には年間1億円以上消費税を払っている病院が多数あるので、こんなに多額になりました。

損した税を解消する方法のうち、最も明確に解消できる方法は、医療を課税制度にしてゼロ税率精算をする方法です。

しかし、現在、医療には特別措置法があり、多数の歯科医療機関がこの制度を医療経営に活用しています。財務省はこの制度存続のため250億円損をしています。

大事なことは、特別措置法が非課税制度のもとで決められたものである、ということです。

課税制度にして損税解消を図ると、財務省は、「課税制度になったのだから、特別措置法を打ち切る」として、措置法での250億円の損を取り戻

そうとすることが予測されます。これは大問題です。歯科診療所においては、年間

- ・特別措置法で、約139万円の得（保険収入2800万円で措置法適用の場合）
- ・消費税で、約24万円の損（全体の平均）

とされています。

つまり、消費税解消は、医師および大型歯科診療所に恩恵があっても、措置法を多く使用している中小歯科診療所にとっては、損税解消より措置法打ち切りの方が深刻です。

以上のことから、歯科では、課税制度にすることにはリスクが伴います。

日本歯科医師会と連盟は、この難問に直面しています。

「消費税においては、歯科こそが慎重な対応を求められる」でしょう。

ご存知 ですか その2

仕組まれた窓口負担増による巨大受診抑制

窓口負担の値上げが、受診抑制による最も効果的な医療費削減政策であることを、ご存知ですか。

右記グラフをご覧ください。伸びつつある歯科医療費を、窓口負担値上げが見事にストップさせました。（歯科医療費は、平成8年以来現在まで、ほとんど横ばいです）

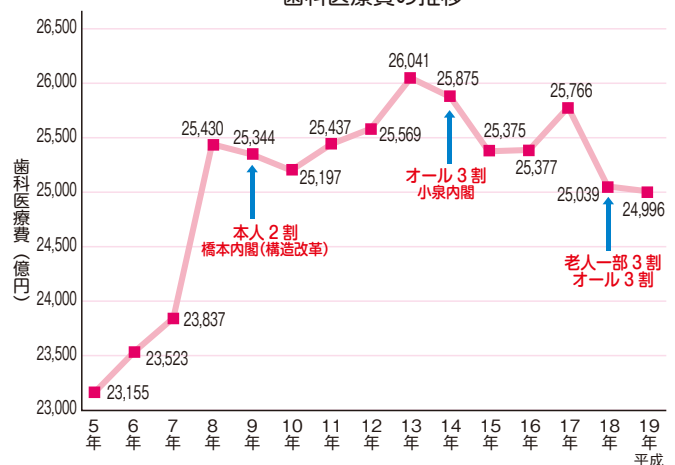
- ・平成9年 社保本人1割負担から2割負担への増額
前年比4.5%減（歯科の受診率減少）
 - ・平成14年 社保本人2割を更に改悪
オール3割負担への増額
前年比4.8%減（歯科の受診率減少）
- （平成8年に対して平成11年の受診数は、なんと11.3%も減）

窓口負担を1割から2割へ、3割へ、と引き上げることで受診数も抑制され、政策的に

総歯科医療費が抑制されました。政府は長瀬効果※を知り尽くして利用しています。

※長瀬効果：戦前、旧内務省の数理技官・長瀬恒蔵氏は「医療費の自己負担が増えると受診抑制がおり医療費は減少する」と提唱しました。現在、100円の負担増で2000億円の医療費減少効果があると考えられています。

歯科医療費の推移



70才から74才までの高齢者の窓口負担を2割に増額しようとしています



診療報酬改定の年であるが、安倍首相は「国民の負担増は厳に慎む」とし、実質引き下げとする調整に入ったとのこと。ただし、消費税増税に伴う医療機関の仕入れ負担増を補填するため1.2%上乘せするという。

医療経済実態調査によると24年度の個人院長の月給で、医科は217.7万、歯科は91.3万。それに歯科は設備投資などの費用がかなり掛かる。

昨年10月の西村まさみ議員の質問に総理は「健康寿命延伸のために歯科口腔管理が必要」という意味合いの回答をされていたが、残念ながら言葉だけであったようだ。何とか歯科として増収部分はないか？ 思いつく施策はいわゆる

国の「歯科保健条例」、多くの都道府県、市町村において同条例が制定される中、日歯の要望もあり厚労省は高齢者の歯科検診事業を各市町村に委託するために700億に近い、予算計上をしている。これがカットされないならば、各市町村で高齢者の歯科検診を実施し、受診率を上げ、口腔の機能回復、治療のきっかけになる。どの地域もその健診結果表を共通のものとし、そのデーターを集積・分析することで、歯科の重要性を引き出すエビデンスとなるはず。

医科・歯科の連携をより密接にし、国民への歯科の重要性を周知するための事業が必要であると考え。この辺りを本会と相談し、活動したい。

今一つ、本業の歯科診療で生業を成立させるために政治力が必要であり、そのために組織率のアップは欠かせないと考えている。

文責 富田 篤

デンタルミーティング IN かながわ開催のお知らせ

日 時 平成26年2月13日(木) 午後6時～8時

場 所 神奈川県歯科医師会館 地階「大会議室」

内 容

▶時局講演会

演 題：「デンソー健康保険における取り組み」

講 師：デンソー健康保険組合 常勤顧問 赤塚 俊昭氏

▶デンタルミーティング

テーマ：「歯科医療は国民の全身の健康に寄与して医療費を削減(仮)」

座 長：参議院議員 島村 大

対 称：幹事・DM、一般会員

*参加予定者：石井みどり参議院議員、西村まさみ参議院議員
その他国会議員 日歯・日歯連盟役員